



大栄みらい学園開校

# 新たな歴史を歩み出す

6月から使用開始した新校舎



全校児童・生徒が利用する大アリーナ



遊具が設置された校庭と校舎

大栄地区の小中学校6校を統合し、市内で2校目となる義務教育学校として4月に開校した大栄みらい学園。9年間の一貫した教育方針で、子どもたちの豊かな創造性や人間性を育む学校を目指します。

## 開校までの経緯

市では、大栄地区の児童・生徒の減少傾向を考慮し、大須賀・桜田・前林・津富浦・川上小学校を1つの小学校に統合することについて、地区住民への説明と協議を重ねてきました。そして、平成25年8月に大栄地区区長会からの同意を受けて、正式に統合に向けて動き始めました。

その後、大栄地区の代表者や小中学校の教職員・PTAなどから組織される「大栄地区小学校統合推進委員会」を立ち上げ、5つの小学校と大栄中学校を併せての小中一貫教育を行うことについてさまざまな協議を行い、令和3年4月に開校を迎えました。

## 校名と校章に込められた思い

大栄みらい学園の校名には「こ

れからの未来ある子どもたちを教育する学校にしたい」「未来永劫にわたり大いに栄えることを願う」という思いが込められています。

校章は、平成29年度の大栄中学校美術部のデザインをベースにして制作されました。「惑星の引力を利用して人工衛星をより遠くへ飛ばす技術のように、この学校で学んだことをエネルギーにスピンドを上げて『みらい』に飛び立つイメージ」と「統合する5学区を表す小さな5つの玉」を表現しています。

## 新校舎の特長

新校舎は、1〜9年生が同じ校舎で学習できる小中一体型校舎です。内装材に木材を使用して、木の温かみを感じながら学校生活を送れるようにしています。

また、太陽光発電や雨水の再利用、自然換気システムなどの環境



内装材には木材を多く使用



明るく開放的なオープンスペース



特徴的な机を配置した特別教室



2階から中庭を望む

## 大栄みらい学園開校式

校舎の完成に合わせて、6月1日に「大栄みらい学園開校式」が行われました。真新しい大アリーナで開催された式典では、関川教育長の開校宣言に続いて、校旗の授与や阿部校長のあいさつなどが行われました。

児童・生徒代表のあいさつでは、夏目望夢さん(9年生)が合唱曲「ふるさと」の歌詞の一部を引用して「この歌のように、ふるさと大栄を誇れるみらい学園をつくっていききたい」と意気込みを語りました。



全校を代表してあいさつ



教育長から校長に校旗を授与

に配慮した設備の導入と併せて、災害時に対応できるよう蓄電池設備や防災倉庫を備えています。

**3つの段階に分かれた効果的・効率的な指導**

教育課程の特色は、9年間の発達段階に応じて、1〜4年生を低学年ブロック、5〜7年生を中学

年ブロック、8・9年生を高学年ブロックに分けて、効果的・効率的な指導を行うことです。

また、中学年ブロックから一部の授業に教科担任制を取り入れられます。教科の専門性を生かして、主体的な深い学習を目指します。

※くわしくは**教育総務課(☎20・1580)**へ。